

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年3月10日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は、地球環境に対する企業の社会的責任を深く認識し、当社の事業目的であるトータルモーションコントロールの追求を通じて、環境負荷の低減に資する優れた技術・サービスを社会に提供し、地球環境の保護に努める。こうした環境方針に則り、産業用ロボットや半導体製造装置向けをはじめ、需要が急速に拡大している波動歯車装置の生産能力を増強し、安定供給力の向上及び品質・納期・生産効率の面における競争力の強化を図るとともに、製品の製造時に排出されるCO₂を削減させることで、付加価値の創出と環境負荷の低減との両立を目指す。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2021年度より事業適応を開始し、2023年度（目標年度）までに当社全体の炭素生産性を161.6%向上することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

はん用機械器具製造業（25）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は、主に動力伝達装置である波動歯車装置を製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度の 2021 年度は、有明工場内の自動化ライン設置工事を開始する。

計画 2 年度の 2022 年度は、有明工場内に自動化ラインを新設すると同時に、同工場におけるすべての使用電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることで、電力消費に伴う CO₂排出量をゼロにする。また、有明工場及び松本工場に設置する機械装置は、エネルギーの効率的な利用を図るべく、最新機種を採用し運転及び待機時の消費電力を低減することにより、省エネルギー化にも配慮した生産ラインの構築を進める。

目標年度の 2023 年度は、期を通じて生産ラインが稼働するため、より多くの付加価値の創出と上記取組によるエネルギー起源 CO₂排出量の削減によって、会社全体の炭素生産性を 161.6%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022 年 3 月

終了時期 2024 年 3 月